レモネード・ジョー　或いは、ホースオペラ（1964）

LIMONADOVY JOE
LEMONADE JOE［米］
LIMONADOVY JOE ANEB KONSKA OPERA

メディア 映画
ジャンル コメディ　西部劇
製作国 チェコスロヴァキア
色彩 Color
時間 99分
初公開日 1993/08/28
公開情報 アーバン２１

【解説】
　いわゆる一つの西部の町に、主人公の清涼飲料水セールスマン、ジョーはやってくる。彼の天敵は酒。匂いを嗅ぐだけで気絶だ。酒場の主の名はバッドマン。神父はグッドマン。超分かり易い設定の中、百害あって一利無し、アルコールを一掃し、健康によいレモネードを飲もう！というわけで、素敵に強引な活躍をしてくれる我らがジョーに、酒場の歌手の竜巻ルウも、牧師の娘の清純な娘ウィニフレッドも、我々だって一目惚れ。「サボテン・ブラザース」と共に、息抜き映画の一、二位を争う傑作（たまたま同じような世界を描いてますが）。’６４年という製作年度を考えれば、西部劇に対しこれほどノスタルジーを持つのが不思議に思えるが、後に「アデラ／ニック・カーター、プラハの対決」でサイレントの連続活劇の世界を蘇らせたリプスキーの興味は、今では失われたジャンル、歌うカウボーイの世界“ホース・オペラ”に向いている。セピアの画面にヨーデル声で、ジーン・オートリーやロイ・ロジャースよろしく唄いながらジョーが登場するやいなや、この、パロディ劇というよりはチェコ映画らしい、コミックと音楽とアニメ（イジィ・プルデチュカが特撮に協力している）の三位一体の手作り感覚のユーモアの虜になってしまう。

【クレジット】

監督	オルドリッチ・リプスキー	Oldrich Lipsky
脚本	イジー・ブルデチュカ	Jiri Brdecka
	オルドリッチ・リプスキー	Oldrich Lipsky
撮影	ヴラディミール・ノヴォトニー	Vladimir Novotny
音楽	ヤン・リフーリク	
出演	カレル・フィアラ	Karel Fiala
	クヴェタ・フィアロヴァ	Kveta Fialová
	オルガ・スホベロヴァ	Olga Schoberová

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.